

**製品名: Oct-1 (リン酸化 Ser385) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05133**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	POU2F1 POU2F1; OCT1; OTF1; POU domain; class 2, transcription factor 1; NF-A1; Octamer-binding
別名	protein 1; Oct-1; Octamer-binding transcription factor 1; OTF-1; POU2F2; OCT2; OTF2; POU domain, class 2, transcription factor 2; Lymphoid-restricted im
遺伝子 ID	5451/5452
SwissProt ID	P14859/P09086
免疫原	抗血清は、ヒト POU2F1/OCT1 由来の Ser385 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

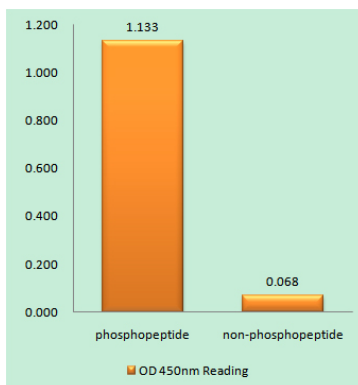
## 背景

OCT1 転写因子は、POU 転写因子ファミリー (Sturm et al., 1993 [PubMed 8314572] によって要約) で最初に同定されたメンバーの一つです。このファミリーのメンバーは、DNA が八量体配列 ATGCAAAT に結合するために必要な 160 アミノ酸からなる POU ドメインを含みます。[OMIM 提供、2010 年 7 月],機能: 八量体モチーフ (5'-ATTTGCAT-3') に結合し、一部の低分子核 RNA (snRNA) 遺伝子、ヒストン H2B 遺伝子、免疫グロブリン遺伝子などのプロモーターを活性化する転写因子。NR3C1、AR、および PGR による転写活性化を調節します。、PTM: PRKDC によってリン酸化されます。、類似性: POU 転写因子ファミリーに属します。クラス 2 サブファミリー。、類似性: ホメオボックス DNA 結合ドメインを 1 つ含む。、類似性: POU 特異的ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: NR3C1、AR、PGR、HCFC1 と相互作用する。、組織特異性: 普遍的。アイソフォーム 2 はリンパ球特異的。、

## 研究分野

-

## 画像データ



POU2F1/OCT1 (リン酸化 Ser385) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)